

気候情報

2019年10月の日本の天候

- 北・東・西日本では、気温がかなり高かった
- 台風第19号による記録的な大雨などで、北日本太平洋側と東日本では、降水量がかなり多かった
- 沖縄・奄美では、降水量が少なく、日照時間が多かった

10月の天気概況

全国的に天気は数日の周期で変化したが、北日本太平洋側と東・西日本では、台風や低気圧等の影響で、曇りや雨の日が多く、たびたび大雨となった。一方、沖縄・奄美では、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。気温は、総じて上空は暖かい空気に覆われやすく、北・東日本の月平均気温平年差は、10月としては1946年以降で1位の高温となった。

上旬：東・西日本太平洋側や沖縄・奄美では高気圧に覆われやすく、晴れた日が多かった。期間の前半は、台風第18号とそれから変わった温帯低気圧の影響で、広い範囲で大雨、大荒れとなった。また、北・東・西日本では、期間の前半を中心にかなりの高温となった。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。

旬降水量は、北日本と東日本日本海側で多かった。一方、東日本太平洋側と西日本日本海側、沖縄・奄美で少なかった。西日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、東日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり多く、西日本太平洋側で多かった。北日本と東・西日本日本海側では平年並だった。

中旬：台風や低気圧、前線、湿った空気の影響を受けやすく、広い範囲で曇りや雨の日が多かった。12日には台風第19号が伊豆半島に上陸し、関東甲信地方と東北地方を通過したため、11日から13日にかけて東日本から東北地方を中心に広い範囲で大雨、暴風、高波、高潮となり、広い範囲で河川の氾濫が相次いだほか、土砂災害や浸水害など大きな被害が発生した。

旬平均気温は、東・西日本で高かった。北日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、北・東日本でかなり多く、西日本で多かった。沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり少なく、北日本太平洋側と東・西日本日本海側で少なかった。北日本日本海側では平年並だった。

下旬：台風や低気圧の影響で、曇りや雨の日が多かった。24日から26日にかけては、太平洋沿岸を進んだ低気圧と台風第21号周辺の湿った空気の影響で、太平洋側の広い範囲で大雨となり、河川の氾濫や土砂災害などの大きな被害が発生した所があった。気温は、北日本を中心に暖かい空気に覆われやすく、北日本の旬平均気温平年差は1961年以降で1位の高温となっ

た。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり高かった。沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、東・西日本太平洋側でかなり多く、北日本太平洋側と西日本日本海側で多かった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美では少なかった。東日本日本海側では平年並だった。

旬間日照時間は、北・西日本太平洋側と東日本で少なかった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美で多かった。西日本日本海側では平年並だった。

10月の気候統計

月平均気温：北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。

月降水量：北日本太平洋側と東日本でかなり多く、北日本日本海側と西日本で多かった。一方、沖縄・奄美で少なかった。

月間日照時間：東日本日本海側でかなり少なく、北・東日本太平洋側と西日本で少なかった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美で多かった。

(気象庁観測部情報管理室)

10月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（℃）
甲府（山梨県）19.1など50地点
- ・月降水量多い方から（mm）
秩父（埼玉県）818.5など16地点
- ・月降水量少ない方から（mm）
与那国島（沖縄県）14.5
- ・月間日照時間多い方から（h）
南大東島（沖縄県）237.4

2019年10月の平年差（比）図

